Enjoy Busan BTSの足跡たどる街歩き

BTSメンバー、釜山公演の前後に訪れた場所はどこ？

6月に釜山で行われた防弾少年団(BTS)の釜山公演をきっかけに、彼らの足跡をたどる「防弾ツアー」が話題となっている。ファンクラブ「ARMY」を中心に、韓流ファンの釜山訪問が続いており、特にBTSのメンバーが直接足を運んだスポットが人気だ。メンバーのジミンが新年の願い事をするために訪れた「多大浦(タデポ)海水浴場」、V(ヴィ)が記念写真を撮った「釜山市民公園」など、今回はBTSが足跡を残した釜山の名所を紹介したい。

■ ジミンが願い事をした夕日の名所「多大浦海水浴場」


ジミンが投稿した動画の一部。

まずは釜山の最西端に位置する多大浦海水浴場だ。釜山出身のメンバーであるジミンが2016年1月、夕日がきれいだと動画投稿サイト「ユーチューブ」に映像をアップし、BTSファンの好奇心をかき立てた。韓国観光公社が今年6月、海外のBTSファンを対象に実施した「BTSの足跡をたどって行きたい韓国の観光名所TOP10」で2位に選ばれた場所でもある。

多大浦海水浴場の絶景ポイントは3カ所。ジミンが絶賛した「黄金色の夕日」、ギネスブックにも載った「夢の夕日噴水」、アシと干潟が調和する「生態探訪路」だ。海と川が交わる境目にある多大浦は、広い干潟と砂浜が印象的だ。木で造られた探訪路を歩くと、そばに砂浜が見えてくる。日没前にこの道を歩くと少しずつ夕日が沈みはじめ、太陽と黄金色に染められた海岸、燃えるように赤く色づいた海が観賞できる。

日が沈んだら、次は「多大浦夢の夕日噴水」を見に行こう。音楽に合わせて水が噴き上がる音楽噴水ショーは、5月から8月の間、平日は午後8時から1回、週末と韓国の祝日は午後8時と同9時の2回行われる。1回の公演時間は約20分間。子ども連れの場合は、5月から9月の間に水遊びが楽しめる「体験噴水」もおすすめ。

[アクセス] 都市鉄道1号線終着駅の多大浦海水浴場駅4番出口。

▲行き方はこちら(NAVERマップ)

■ Vが記念写真を撮った場所「釜山市民公園」



Vがツイッターに掲載した釜山市民公園の写真。

2番目は釜山のセントラルパークとも言われる、釜山市民公園だ。6月の釜山ファンミーティング前に、メンバーのVは釜山市民公園を訪れて散歩を楽しみ、会員制交流サイト「ツイッター」の公式アカウントに「釜山いいね」という文を掲載した。Vが散歩した場所は、公園の北側3番ゲートから入り、田浦(チョンポ)川を横切って南門に向かう道の途中にある。

釜山の中心に位置する市民公園は、その名の通り釜山市民の憩いの場として親しまれている。広い散歩道沿いに約85万本の木々が植えられており、子どものための水遊び場、さまざまな芸術体験ができる施設「文化芸術村」などもある。夏の夜には、多くの市民が同公園近くの大型スーパー「Eマートトレーダース」でチキンやサンドイッチなどの軽食を買って、園内の芝生や大型噴水の近くで食べながら穏やかな時間を過ごす。

[アクセス] 都市鉄道1号線釜田(プジョン)駅7番出口を出て直進→鉄道釜田駅を通り越して裏門を出た後、横断歩道を渡る。

▲行き方はこちら(NAVERマップ)

■ RMが訪れた、釜山市民美術館の「李禹煥ギャラリー」


RMが訪れた李禹煥ギャラリーの全景。

3番目の目的地は釜山最大の展示・観覧施設「BEXCO」の隣に位置する釜山市立美術館の李禹煥(イ・ウファン)ギャラリー。BTSのリーダー、RM(アールエム)が訪れた場所だ。美術愛好家として知られる彼は、以前から李さんの作品に関心を持っていた。李さんはフランス・パリのユネスコ美術賞や日本の世界文化賞など、国内外で数多くの美術賞を受賞した韓国を代表する現代美術家だ。

李さんは釜山で幼少期を過ごした。釜山市はこれを縁に同美術館の一角に「李禹煥ギャラリー」を開設。建物の1階には「関係項-狭い門」「物と言語」などの8作品、2階には点と線を利用した彼の代表的な会話作品「線より」「点より」「風と共に」など13点の作品が展示され、野外に設置された彫刻作品とうまく調和している。RMは特に「風シリーズ」が好きだと芳名録に記した。

[観覧時間] 火～日曜日午前10時から午後6時。毎週月曜日休館。
[観覧料] 大人3千ウォン。
[アクセス] 都市鉄道2号線BEXCO駅1番出口から徒歩 5分ほど。

▲行き方はこちら(NAVERマップ)


写真・権晟勲

「防弾少年団(BTS)の釜山公演」以後、彼らの足跡をたどる「防弾ツアー」が人気だ。ファンクラブ「ARMY」を中心に、韓流ファンの釜山訪問が続いている(下の写真はメンバーのジミンが新年の願い事をした場所・多大浦海水浴場のそばにある生態探訪路)。